

「国内運用会社の運用パフォーマンスを示す 代表的な指標（K P I）に関する調査」について ～全ファンドベースの平均シャープレシオ 2年連続で1位に～

2020年8月26日

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融庁が25日、同庁のサイトに発表した「国内運用会社の運用パフォーマンスを示す代表的な指標（K P I）に関する調査」において、レオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人）のデータが掲載されました。全ファンドベース、運用歴5年以上の運用会社について、当社の2019年度末時点の平均シャープレシオ（5年間）は0.50、順位は2018年度末時点から引き続き1位となっております。

■シャープレシオとは■

投資信託の運用パフォーマンスを示す共通の指標の1つ。投資のリスク（価格変動）の大きさに比べてどれだけリターン（収益率）を得られるか、運用効率の高さを示し、数値が大きいほど運用効率が良いとされる。

参照：別紙「2019年度末（1-a）ファンド分類別・運用会社別・平均分析データ」

https://www.fsa.go.jp/common/about/research/20200828_1.html